

【会社概要】

- 所在地：大分市
- 代表者：代表取締役社長 安部 征吾
- 創業：昭和45年
- 売上高：10.7億円
- 従業員数：122名
- 付加価値額：6.6億円(※)
- 事業内容：半導体後工程、試作・開発サポート

※営業利益、人件費、減価償却費の合計

【成長戦略】

○テーマ「次世代パワーデバイス(※1)分野におけるニッチトップ企業を目指す」

○定量目標：5年後までに売上高16.7億円(1.6倍)、従業員数139名(1.1倍)、付加価値額9.2億円(1.4倍)

○成長の方向性

①産業技術総合研究所との共同研究をさらに進め、次世代パワーデバイス製品の設計開発から少量多品種生産までを行うニッチトップを目指す

※工場設備等の一般産業向け

②設備投資による生産能力増強(現状2,000個/月→5万個/月の生産が可能)

※1 次世代パワーデバイス:炭化ケイ素や窒化ガリウムを基板とした製品。シリコン基板よりも高耐熱/高変換効率が達成できると期待されている

○補助金使途：設計開発等技術者採用(30,000千円)、設備導入(30,000千円)

【自社の競争優位性、強み】

○産業技術総合研究所との共同研究で培ったパワーデバイス(※)パッケージの設計・製造技術は国内トップクラス

○パワーデバイスパッケージの開発から少量多品種生産まで一貫して対応するのは他社では困難

※パワーデバイス：モーターや照明の制御や電力の変換を行う半導体。電力変換(周波数変換、インバーター等)のキーデバイス。シリコン基板が主流。

【成長の方向性】



【パワーデバイス開発例】

ディスクリート(単機能)



モジュール(組み込み)

